

地域学修報告 一覧（2024年度）

【公開講座など一般向け】

NO	担当	活動名	実施日
1	地域総合センター	「教養講座」 （会場：尾道市役所多目的スペース1.2） 地域に開かれた大学をめざし、教育研究活動の一端を地域に還元することを目的として「教養講座」を開講。 毎回担当講師が変わるオムニバス形式の講座。 《担当講師》 経済情報学科：南郷毅 日本文学科：高島彬／吉田宰 美術学科：山梨千果子／小野環	2024年 10月2日（水） 10月12日（土） 10月16日（水） 10月30日（水）
2		「尾道学入門公開授業」 （会場：尾道市立大学講義室） 地域に開かれた大学づくりの一環として、教養教育科目の講義「尾道学入門」を一般公開し、講座後質疑応答時間を設けた。 《担当講師》 外部講師：小川長／幸野昌賢／豊田雅子／真野洋介／大谷悠／藤沢毅／林良司 経済情報学科：森本幾子／林直樹／木村文則／堀江進也 日本文学科：灰谷謙二／藤井佐美 美術学科：桜田知文／小野環	2024年度前期 （木曜日1限）
3	経済情報学科 地域総合センター	「ポスター展示」 （会場：広島銀行尾道栗原支店） 本学の紹介ポスターと、経済情報学部津村ゼミでの研究をまとめたポスターを展示した。	2024年6月～
4		「ポスター展示」 （会場：尾道市立大学） オープンキャンパスにて、尾道のイメージを作るものを、時間的・空間的に、近く・遠くから観察するという、本研究会のコンセプトを図式化したポスターの展示を行った。	2024年8月10日 （土）

5	尾道の「顔」 研究会	「「尾道市市史編さん委員会事務局における尾道の「引き札」調査」 2024年度学長裁量教育研究費（共同研究）「尾道の「顔」形成の基礎的研究」共同研究教員3名（日本文学科平山先生, 同藤本先生, 森本）で尾道市市史編さん室を訪れ、「おのみち文学三昧」でのポスター展示の内容に関する「大藤忠兵衛旧蔵引き札コレクション」内の引き札を閲覧し、その特徴を記録する活動を実施した。	2024年11月7日 (木)
6		「ポスター展示」 (会場：しまなみ交流館2階ホワイエ) 「学長裁量教育研究費「尾道の「顔」形成の基礎的研究」の研究成果の展示を行った。しまなみ交流館2階ホワイエにて「おのみち文学三昧」（日本文学科主催）と同時開催にて展示。	2024年12月7日 (土)
7		「尾道市の歴史資料（引き札、古地図、古い観光パンフレット、古い写真・写真絵葉書）の調査」 (会場：尾道市市史編さん室) 尾道の「顔」研究会メンバーの教員2名と学生1名で、林良司氏の説明を聴きながら、調査を行った。	2025年3月17日 (月)
8	林 直樹	「「コジマ・ムジカ・コレギアの活動へのボランティア協力」 「アンサンブルアカデミーinしまなみ」の修了演奏会、および「しまなみ音楽休暇村」のフィナーレコンサートのステージ補助者として、本学経済情報学科学生2名がボランティアとして参加。	2025年 3月29日（土） 3月30日（日）
9	森本幾子 (経済情報学科)	「公開ゼミ：尾道の歴史的遺産と集客－学生のアイデアから－」 (会場：尾道商業会議所記念館) 尾道の歴史的遺産と尾道を訪れる人々の関係について、おもに「滞在」、「住む」、「情報発信」のそれぞれの視点から学生のアイデアを発表した。	2024年12月22日 (日)
10		「卒業論文執筆のためのフィールドワーク①」 2024年度卒業生の卒業論文執筆のためのフィールドワーク：「尾道山波伝統行事の継承と問題－フィールドワークからの提言－」（ゼミ生大久保緋菜さん）	2024年度後期
11		「卒業論文執筆のためのフィールドワーク②尾道ブルワリーさん」 2024年度卒業生の卒業論文執筆のためのフィールドワーク：「クラフトビールを広島県でより広げるには－尾道ブルワリーフィールドワークを通して－」	2024年度後期

12		「第37回全国北前船セミナー基調講演「北前船商人と瀬戸内地域の経済的、文化的交流」（石川県加賀市）」 近世期の尾道や瀬戸内海地域の商人と北前船との取引関係、文化交流に関する講演を実施。	2024年8月25日 (日)
13		「尾道カルチャークラブ（尾道の高等学校校長ほか教育文化関係者の会）における講座「近世後期尾道における消費活動と旅人－来訪者の受容と地域社会の変容－」（グリーンヒルホテル尾道）」 近世期尾道を訪れた行商人、医療関係者、芸能者と尾道町の関係についての研究成果を講演した。	2025年3月22日 (土)
14	日本文学科	「尾道文学談話会」 （会場：尾道市役所多目的スペース1.2） 日本文学科教員を中心とする一般向け公開講座。 《担当講師》 日本文学科：藤井佐美／原卓史／鷹橋明久／吉田宰／藤本真理子／平山直樹	2024年4月～9月 毎月1回開催
15	日本文学科 尾道市立大学 日本文学会	「おのみち文学三昧」 （会場：しまなみ交流館大ホール） 日本文学科3年生研究発表会に基づく研究成果の公開、教員による日頃の研究成果の公開、および講演会の一般公開。	2024年12月7日 (土)
16	藤本真理子 (日本語学（古典語）ゼミ)	「昭和の記憶」 ゼミ学生の指導をととして、学生と三訪会会員との交流を座談会形式で行った。	2024年6月22日 (土)
17	藤本真理子 (日本文学科2年生学年担当)	「WHAT'S おのみち文化スタディ!? ―地域と繋がる日本文学科の学び―」 オープンキャンパスにてポスター展示をした。	2024年8月10日 (土)
18	山田和大 (日本文学科)	「古典の立場から考える「国語力」 令和6年度広島県高等学校教育研究会国語部会広島東支部主催の研修会（パネルディスカッション「いま『国語力』を問うー高校×入試×大学ー」）の中で、基調提案者の一人として古典（特に漢文）教育の立場から「国語力」について提案するとともに、パネラーとして協議に参加した。	2024年12月12日 (木)
19		「各教科等の見方・考え方を働かせた、STEAM型探究活動を体験する」 広島県教育委員会主催「STEAM型カリキュラム推進研修」において、高等学校教員対象のワークショップにおけるファシリテーターを担当した。	2024年6月19日 (水)

20	中村 譲 鈴木恵麻 山梨千果子 (美術学科)	「日本画ワークショップ」 地域の方を対象として小色紙サイズに日本画制作を行った。	2024年11月29日 (金)
21	中村 譲 鈴木恵麻 山梨千果子 村松航汰 (美術学科)	「再興109回院展広島展にてギャラリートークやワークショップを開催」 院展広島展の会場である平山郁夫美術館にてギャラリートークやワークショップを開催。	2025年 3月1日(土) 3月9日(日) 3月15日(土)
22	市川 彰 (美術学科)	「第50期尾道いきいき大学教養講座」 「日本絵画 鑑賞の愉しみ～俵屋宗達「風神雷神図屏風」を考えてみる～」 場所：尾道市総合福祉センター	2024年9月13日 (金)
23	伊藤麻子 (美術学科)	「ポスター展」 (会場：尾道市まちなか文化交流施設Bank) グラフィック・アドバタイジング領域の課題で取り組んだポスター展を行い地域の皆さんに見ていただく「摺×刷×展」を実施。同時にイラストレーション・アニメーション領域で取り組んだ課題の展示も同時開催した。	2024年12月12日 (木)～12月14日 (土)
24	小野 環 (美術学科)	「建築塾 たてもの探訪編」 尾道市内の失われた建築を解説しながら巡るまち歩き企画。	2024年5月
25		「第15回 尾道まちづくり発表会 ～持続可能なまちを支える視野と活動～」 これからの持続可能な尾道のまちを考えるヒントとなる、近隣の町での継続的な取り組みから学ぶ会。コメンテーターを務めた。	2024年5月17日 (金)
26		「和作ウィークにおける展覧会企画」 小林和作没後50周年を記念する「和作ウィーク」における展覧会「未完のわさく」、「マルチプレーヤー和作」、「和作の引き出し」の企画運営を行った。	2024年 11月3日(日)～ 10日(日)
27		「トークイベント「マルチプレーヤー和作」」 和作ウィーク2024の展覧会企画に至るリサーチから見えてきた新たな小林和作像について2020年にスタートした和作研究会メンバーが話す。	2024年11月9日 (土)

28	「墓の影響学 第6セミナー 再生の影響学」 東京大学中井悠ゼミ主催のトークイベントで発表とディスカッションを行った。	2025年3月16日 (日)
----	--	-------------------